

平成 22 年 3 月 29 日現在

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2007～2010
課題番号：19520457
研究課題名（和文）日本語教員と理系教員との協働による日本語論文作成支援リソースの開発と評価
研究課題名（英文）Japanese academic writing resources prepared jointly by Japanese language and science teaching professionals.
研究代表者 村岡 貴子
(MURAOKA TAKAKO)
大阪大学・留学生センター・教授
研究者番号：30243744

研究代表者の専門分野：日本語教育学

科研費の分科・細目：言語学・日本語教育

キーワード：日本語論文作成支援、アカデミック・ライティング、専門日本語教育、リソース、スキーマ、

1. 研究計画の概要

昨年度に引き続き、対象となる留学生のライティングに関するデータ収集を行い、本研究が目ざす論文作成支援リソースのあり方を検討する。

2. 研究の進捗状況

(1) 学習者作文コーパス

学習者の作文を新たに 91 件収集し、エクセルソフトを活用しつつコーパス化を進めている。学習者の作文をもとに編集した学習課題である「テキスト分析タスク」も、種類と量を増やし、電子化されたデータとして保存している。

(2) スキーマ形成に関する意識調査

作文に加えてインタビュー調査および授業実践時の学習者の発言内容を記録したデータ分析から、ライティングのスキーマを有する成功者とそうでない未成功者の特徴について記述を行った。さらに、授業実践で活用した学習課題であるタスクの位置づけと意義を考察した。

(3) スキーマ形成に関する結果と考察

中心的な成果としては、成功者の発言や考え方を一定程度明らかにした。彼らは、厳密な文章評価の能力を有しているだけでなく、外国語学習に対して一定の信念を有しており、それらが彼らの個々の学習活動に少なからぬ影響を及ぼしていることも示唆された。つまり、表現や文法といった「部分」に捉われず、段落構成、トピックセンテンスの所在、および文章中の論理の一貫性にも及ぶコメ

ントが見られた。成功者は、また、言語学習そのものを、研究活動や過去の種々の学習経験と関連付けて捉えたコメントを行っていた。このように、「部分」ではなく、「全体」や「構造」を意識的に捉え、自己の学習を客観的に見る視点は、成功者と未成功者との著しい差異であった。一方の未成功者は、文法や表現の難易度にとらわれ、適切な文章評価が行えず、また、それらに対しては、母国での学習経験や教育文化、研究活動の経験等の影響があると示唆された。

以上の成功者のコメントもデータベース化して未成功者への刺激に活用し得る可能性についても示唆を得た。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展していると考えられる。

(理由) 論文作成支援リソースは、従来あるような表現集や解説中心のものではなく、論文に関するスキーマ形成を促すための学習課題が十分に準備されているものを目ざしている。そのことから、単なる表現や構成のモデルを提示するデータではなく、学習者の意識やそれに影響する教育文化背景、またそれらにもとづいたコースデザイン設計のための種々の知見が必要である。本研究では現時点まで、そのような知見が徐々に蓄積されつつあり、また、作文コーパスとタスク集も拡大させていることから、研究の進展が認められると評価できる。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度には、さらにデータを増やししながら、リソースの枠組みと種々のコーパス活用の方法をさらに精緻化する。また、国の内外を問わず、ライティング教育に関する連携を考慮し、海外の研究者とも、情報や意見の交換を行い、国内の教育関係者ともワークショップ的な会を開催する等して、ライティング教育に関する共通理解を形成していく機会を設けたいと考える。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

① 村岡貴子 「専門日本語ライティング能力養成のための学習課題の捉え方」『多文化社会と留学生交流』第14号 印刷中 2010年 査読無

② 村岡貴子 「日本語学習者のアカデミック・ライティング能力の獲得過程-学習者文章の分析とインタビューに基づくパイロット調査から-」『言語文化共同研究プロジェクトアカデミック・ライティング研究Ⅲ』印刷中 2009年 査読無

③ 村岡貴子・因京子・仁科喜久子 「専門文章作成支援方法の開発に向けて：スキーマ形成を中心に」『専門日本語教育研究』第11号 pp. 23～30 2009年 査読有

[学会発表] (計2件)

① 因京子 「実務的・学術的文章のスキーマ形成・活性化を促す文章分析活動の効果」第11回東アジア日本語文化フォーラム、2009年3月19日 上海外国語大学、上海、中華人民共和国

② 村岡貴子 「専門日本語ライティング能力養成のための学習課題」第3回大阪大学専門日本語教育研究協議会 2009年3月9日 大阪